

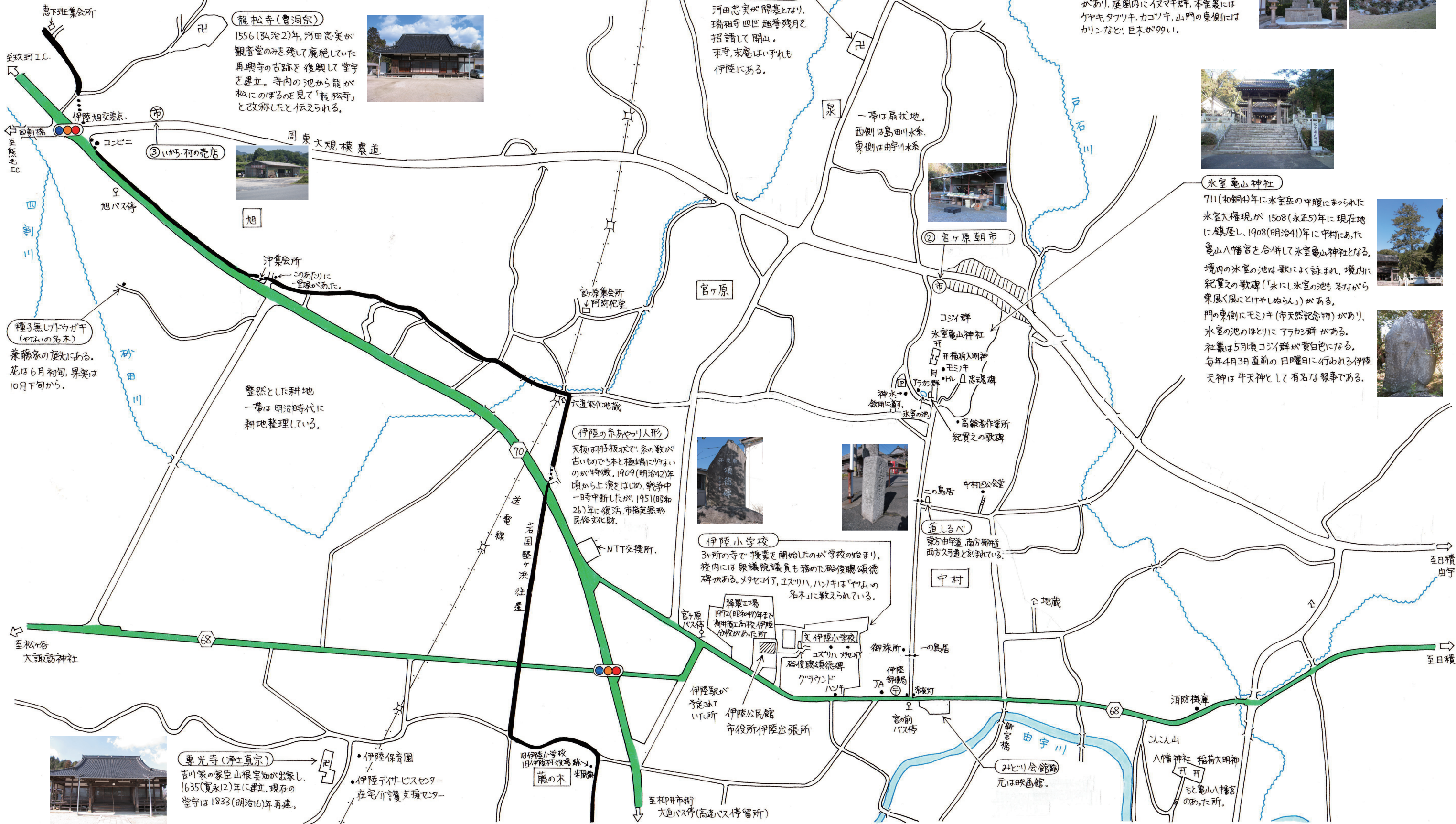
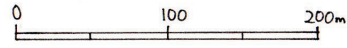
# 柳井お宝マップ

## 伊陸地区編

制作 豊笑家倶楽部 2006.2

2018.7 修正

「この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日 柳都第79号)」



**龍松寺(曹洞宗)**  
1556(弘治2)年、河田忠実が観音堂のみを残して廃絶していた再興寺の古跡を復興して堂宇を建立。寺内の池から龍が松にのぼるのを見て「龍松寺」と改称したと伝えられる。



**廓然寺(浄土宗)**  
河田忠実が開基となり、瑞相寺四世趣善残月を招請して開山。末寺、末庵はいずれも伊陸にある。



**高山寺(臨済宗、周防安国寺跡)**  
1320(元応2)年に集山覺愍により開山。全国に一国一寺として建てられた「周防安国寺」として知られている。本堂裏の庭園(市名勝)は江戸前期に築かれた庭と伝えられ、背景にある氷室岳を借景に取り入れた庭園構成となっている。奥の墓所には開山、開基のものといわれる宝篋印塔がある。境内西側にはウスギモクセイ(市天然記念物)があり、庭園内にイヌマキ群、本堂裏にはケヤキ、タブノキ、カコノキ、山門の東側にはカリンなど、巨木が多い。



**氷室亀山神社**  
711(和銅4)年に氷室岳の中腹にまつられた氷室大権現が、1508(永正5)年に現在地に鎮座し、1908(明治41)年に中村にあった亀山八幡宮を合併して氷室亀山神社となる。境内の氷室の池は歌によく詠まれ、境内に紀貫之の歌碑(「氷にし氷室の池は 冬ながら 東風く風にとけやしぬらん」)がある。門の東側にモミキ(市天然記念物)があり、氷室の池のほとりにアラカシ群がある。社叢は5月頃コシ群が黄白色になる。毎年4月3日直前の日曜日に「伊陸天神祭」が行われる。伊陸天神は牛天神として有名な祭事である。



**種子無しドウガキ(やまの名木)**  
兼藤家の庭先にある。花は6月初旬、果実は10月下旬から。

整然とした耕地  
→ 帯は明治時代に耕地整理している。

**伊陸の糸あやりの人形**  
天板(羽子板)で、糸の数が古いもので5本と極端に少ないのが特徴。1909(明治42)年頃から上演をはじめ、戦争中一時中断したが、1951(昭和26)年に復活。市指定無形民俗文化財。



**伊陸小学校**  
3ヶ所の寺で授業を開始したのが学校の始まり。校内には衆議院議員も務めた碓後照徳の碑がある。メタセコイヤ、ユズリハ、ハンキは「やまの名木」に数えられている。



**専光寺(浄土真宗)**  
吉川家の家臣山根実知が出家し、1635(寛永12)年に建立。現在の堂宇は1833(明治16)年再建。



●伊陸保育園  
●伊陸子供センター  
●在宅介護支援センター

旧伊陸小学校  
旧伊陸村役場跡  
藤の木

みどり会館  
元は映画館。

八幡神社 稲荷大明神  
もも亀山八幡宮のあった所。